

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ぎ酸カリウム
 会社名 : 関東化学株式会社
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課
 電話番号 : 0120-260-489
 F A X 番号 : (03)3241-1047
 メールアドレス : BC32@kanto.co.jp
 整理番号 : 32341
 SDS適用製品番号 : 32341、32878

2. 危険有害性の要約

G H S 分類 : 分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 化学名又は一般名 : ぎ酸カリウム
 成分及び含有量 : ぎ酸カリウム 90.0%以上
 化学特性（示性式） : HC00K
 官報公示整理番号 :
 化審法 : 2-676
 安衛法 : 公表
 C A S N o. : 590-29-4

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
 飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ

流出しないように注意する。

回収、中和 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

保管

適切な保管条件 : 吸湿性があるので、容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会（2009年度版）

: 設定されていない

ACGIH（2009年度版）

: 設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 結晶

色 : 白色

臭い : 特異臭

pH : 7.0-9.0 (0.2mol/L, 25℃)

沸点 : 分解

融点 : 167.5℃

引火点 : 不燃性である

密度 : 1.91g/mL (20℃)

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 76.8% (20℃)
有機溶媒 ; エタノールに微溶、ジエチルエーテルに不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

反応性 : 酸化剤と接触すると反応することがある。

避けるべき条件 : 日光、熱

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 : 区分に該当しない

経皮 : 分類できない

吸入（蒸気） : 分類できない

吸入（粉塵・ミスト） : 分類できない



ラット 経口 LD50=5500mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 : 区分に該当しない

水溶液のpHは中性であり、区分に該当しないとした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: 分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性－単回暴露

: 分類できない

経口摂取すると、悪心、嘔吐、腹痛などを起こすことがあるが、データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性－反復暴露

: 分類できない

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

: 水生毒性（急性）: 分類できない

水生毒性（慢性）: 分類できない

残留性／分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 多量の水に溶解して、pHを中性に調整した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器

: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

適用法令なし

国連分類

: 分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献

化学大辞典 共立出版社（1963）

Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編
Van Nostrand Reinhold Company (1984)



関東化学株式会社

15710の化学商品、化学工業日報社（2010）

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。

